

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.18 平成28年2月16日発行
発行責任者:高一伸〒097-0004 稚内市縁2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : <http://www.soya-teachers.org> Mail : info@soya-teachers.org

宗谷教組の運動を豊かに!

第27回定期大会

学校づくりと人事
管内課題の
切実さが語られ...

若い先生の発言目立つ
討論の様子から
各支部からの討論では、若い先生の
発言が多くありました。「組合に誘つ
てもらって加入して、自分の街で組合
の活動に集つて…」という経験から考
えた『組合づくり』を自分の言葉で語
る――集うことやひとりひとりの
先生方の存在を大切にしているから
こそ、生まれてくる発言なのではない
でしょうか。

一方で、発言という形ではなかなか表
面化されない課題として、「せっかく組
合に入ったんだし、自分も力になりた
い」「組合のことを知りたいし勉強もし
たい」という願いが叶わなくてもんもん
としている…という現状を抱えている
方もいることに、私たちは気が付かなければ
なりません。

あなたのそばで
運動を創りたい!

討論の様子から 若い先生の発言目立つ

宗谷教職員組合第二七回定期大会を二月十三日に、稚内総合福祉センターで行いました。今年一年間の組合活動を振り返り、これから宗谷教組の運動に展望を持つ観点で討論を通して深め合うことができました。



子どもたちの「学び」 を考えるシンポジウム

管内から50名参加!

定期大会に続いてのシンポジウムでは、宗谷の教育研究運動の歴史と、今の社会情勢と「学び」が抱えている課題。数値「学力」と私たちが「子どもたちと育みたい『学び』」。こうした関係が、実にあらゆる観点から語られました。参加されたみなさんの感想を紹介します。

◆昨年までの私だったら、このような交流会があったときは「へーなるほど勉強になるなあ」で終わっていました。でも今日は、「じゃあ私には何ができるだろう」と考えている自分に気づきました。これも普段、支部、分会の先生方とたくさん交流し、色々な考えに触れられている成果かなあとと思いました。今後、組合の先生方との、いえ、多くの先生方との交流の場を大切にしていきたいと思います。

◆全ての学校でのがんばり、つながりを聞かせていただきました。それぞれの学校の取り組みにたくさんの思いや頑張りを感じ

じました。

◆今回のシンポジウムを聞いて、子どもたちに学びを求めていくと同時に、それ以上に教師集団が学び合いをしていく必要があることを考えさせられました。学びとは何かを教師集団、子どもたち、保護者で共通のものにしながら、これから道を進んでいくべきだと思います。

◆分会の中でも、以前「学力」について話し合うことがありました。「学力」や「学び」という言葉についてだけでも、けっこうな

宗谷教組では、組合に入っている先生方の声をもとに、組合づくりを進めていきたいと考えています。それは、「もつとこうなら」という要求はもちろん、「この取り組みでこう考えたよ」という声も含めです。組合づくりの工夫や奮闘という財産を広める取り組みを進めましょう。

あるのは事実です。それはおそらく全ての支部が抱えている悩みもあります。前述したような、先行例に学びながら、それぞれの支部が独自に組合づくりを考えることが求められています。

意見の出試合で、どんな教育活動でも、はじまりは集団の想いを共通化、課題意識を持つことが本当に欠かせないなと思いました。今日のシンポジウムも意識する良いきっかけになりました。

◆今日は、さまざま実践をパネリストのみなさんから聞かせてもらいました。「研修」の話があがりましたが、私のような経験の浅い教員は、先輩教員の実践を聞くことが一番の学びになると思います。このような機会があること自体、良い取り組みです。今後もこのような機会があり続けることを願います。



今年度最後のセンたまです。2月も半ばにさかり、卒業式や受験などに向けての準備に奮闘されていることと思います。さて今回のセンたまでは、「学級じまい」について学び合います。4月、どこの学級でも「学級開き」が行われています。開いたものは最後に閉じなければなりません。1年の最後を子どもたちとどのように過ごしますか?

「フル参加は厳しいのですが…」「1時間だけでも大丈夫ですか?」構いません。年度末の忙しい中ですが、ぜひみんなで学び合いましょう。

テーマ：学級じまいについて
日時：平成28年3月12日 14:00～16:00
場所：稚内北星学園大学

安全保障関連法が昨年可決されました。「教子を再び戦場に送らない」という宗谷教組のスローガンのもと、宗谷管内全市町村でデモ行進を行ったり、札幌で行われている集会に参加してきました。子どもたちに平和な時代を引き渡すためにも、この運動は継続していかなければなりません。各支部では学習会が行われ、「平和について考え方」という確かめがされてきます。学習会が行われた支部からは本部に感想を含めた支部情報が届いています。

○将来子どもたちが、本当にこの国旗、国歌でいいのか!?と議論がなされるような時代がくればいいなあ」と思います。そのためには、しっかりと歴史(国旗・国歌)を伝えていくことが大切な気がします。伝える教師が知らないれば、伝わりません。今回の学習会はとても意義があるものだつたと思います。

つてることを考えると、語り合うことの大切さを痛感します。そして飲み会になると「またはじめた」と感じていた先輩たちの日本社会の話が教育の根幹を搖るがす大事な話だつた、と今更になつて感じます。や

平和な世界を ここ宗谷から

なきやならない仕事がいっぱいだけ、その流れにつかなければ、仲間とつながるだけで自分の方向性を確認したり、自分の勇気や力になると思うので、みんなで集まつて話す機会がたくさんあつたらしいな、と思います。

○子どもと向き合う教員として、戦争や平和を深く考える1年でした。まだ若い頃、組合の先輩方が熱く語っていた思いをつなぎ合わせて自分の考えができあが

○知つているようで知らない。学んだ方が良いと思いつつも、なかなか自主的に学ぼうとはしない。でも、将来を生きていく子どもたちは、自分で判断できる力をつけてあげないとダメだと思う。やつぱり、この仕事をしていける限り、目の前の子どもとその将来を考えていかなければならぬと改めて思いました。今日は真剣に考える時間になり、参加して良かったです。

○国民の気持ちを考えた政治にしてほしい。ただし、望むだけではなく、私たちができる所から行動し、決して教子を再び戦場に送ることのないようにしていかなければならぬないと考えました。

これらは感想の一部です。感想を読みましたが、共通していることが3つあります。

- ①知つているようで知らないことが多い。
- ②子どもと一緒に将来を考え、自分で判断できる力をつけるべきである。
- ③仲間と共に語り合い、自分の意見を持つことが大切。



忙しい毎日が続きますが、放置できることではありません。今後も学び続け、「教子を再び戦場に送らない」ためにできることを考えていきましょう。まずできることは分会の先生方、職場の先生方と語り合うことです。(えんとー)

今月2日、広島県で非常に残念な事故がありました。ご存知の方も多いかと思いますが、小学校6年生の女児がスキー授業中に一

総合共済への加入をお願いします

月々600円の掛け金で、うれしいとき・かなしいときの給付がある全国の仲間の助け合いの制度です。退職時には掛け金が全額戻ります。給付の分だけお得な共済です。

うれしいときのお祝い給付



かなしいときのお見舞い給付



…など様々な給付があります。

全教共済に入ろう!

総合共済の掛け金は、退職時に全額戻ります。
「組合に月600円出資してあげる」と思つて、みなさん総合共済に加入してください。
あなたの決意が、組合活動を豊かにします。